

# 明治のころの幼稚園



## 出席者

石 黒 光	明治二五年頃卒業
井 上 瑞 子	明治二五年頃卒業
入 江 ヤ ス	明治三八年頃卒業
及 川 ふ み	
小 野 田 な か	明治三八年頃卒業
金 井 い ね	明治三三年頃卒業
桂 和 歌 子	明治三七年頃卒業
菊 池 ふ じ の	
新 床 よ し こ	
守 田 栄	明治三三年頃卒業
渡 辺 つ る	明治三三年頃卒業

(昭和三十一年一月二十五日、お茶の水女子大学内校舎集會室にて)

我が国の幼稚園の草創期には、実際にどのような保育が行なわれていたのだろうか。現在我々のやっているようなことと、どれくらい違ったものだったのだろうか。今となつては残された文書より他に適確に知る由もないが、幸にその頃にお茶の水の幼稚園に自ら通われた方々から、数十年前の記憶の糸をたぐつてお話を伺うことができるならば、大変に興味深いことであるので、よく往時を覚えておられる方々にお集まり頂いた次第です。

及川 本日はお寒い所をお過ごし下さいます。ありがとうございます。ずい分昔のことですが、皆様の幼稚園に通いになりました頃のことを、沢山おきかせ頂きたく思います。渡辺さんは、どちらからお通いになりましたか。

渡辺 私は、さがが牛込砂土原町の浄瑠璃坂の上におりましたので、そこから通つておりました。そこに加藤高明さんの坊ちゃんの高太郎さんという方がいらつしやいまして、たしか御一緒だったのでございます。

金井 私は、さがが中根岸にございました。  
及川 乗物でお通いでしたか。

渡辺 小学校のはじめまでは、二人乗りの人力車に兄弟と一緒に乗ってまいりました。

金井 私も人力組でございます。皆さんもやっぱり人力でございますね。昔は小使い部屋に別棟に待合い所があって、そこでお供の女中さんが編物を教えていただいたりしながら待つておりました。

及川 皆さんの中で一番小さい方は三つでいらつしやつたわけですね。

渡辺 私は大きい組(一年組)に入ったような気がいたします。〇〇先生とおっしゃる

て、眼鏡をかけた先生がいらっしやいました。

及川 福沢さんは、二年組の時の先生は？

金井 ずっと同じ先生でございました。

及川 主事さんという方は、お覚えになりませんか。

渡辺 中村先生じゃございませんか？ 妹の時になると、武井先生がいらっしやったのでございます。

及川 皆さんは願書を出してお置きになると、補欠があれば随時お入りになった訳でございますね。

金井 私は途中から何時の間にか幼稚園に入れていただきました。

及川 渡辺さんは御兄弟の何人目でお入りになりましたか。

渡辺 お恥しながら、五人目でございます。私のあと、妹が二人こちらに御世話になりましたから七人お世話になったわけでございます。

桂 私の兄弟も七人位お世話になりました。私は十一番目でございます。一番上の兄も清水先生に御厄介になりました。

及川 桂さんは明治何年でございますか。

桂 三十一年生れでございますから、三十

五年の四月に入りまして、……本郷の弓町におりました。

石黒 幼稚園と聞いたらなつかしくなってしまうて……。私の受持は野口幽香先生でした。中村先生は監事先生とおっしゃっていました。野口先生は、私共が卒業してから、学習院にいらっしやいました。随分おばあさんにみえたのですが、先生に伺ったら、いやですよ、あの時は二十二だったのですよとおっしゃっていました。妹が小学校に入った時から、そろそろ試験がやかましくなりまして。

及川 石黒さんの頃は二組三組でございますか。

石黒 一の組、二の組、三の組でした。大きな藤棚がございましたね。

金井 築山もございました。片方が急で、片方がなだらかでございました。

及川 皆さんのいらっしやった建物は、明治十九年に出来た建物でございます。多分その時の建物が震災までございましたね。

新庄 石黒さんは、何年頃幼児でいらっしやったのですか。

石黒 明治二十一年生れでございますから

二十五年ぐらいでございますね。入り口が段々で危いというので、てすりのところにしゆるのむしろがしいてありました。左側に遊戯室がございまして、その出入口の下にならんでお入りの時にジャン／＼鐘がなりまして「一の組お入り」と言ってぞろ／＼教室に入ります。

及川 真鍮の鐘がございましたので、何にお使いになったのかと思っておりました。

井上 白なますのある小使いさんがおりまして。

石黒 その人は随分長くいて、御ほうびをいただいたようでございます。

#### 服装のこと

及川 あの頃はお着物でございますか。

石黒 もちろん着物でございます。

桂 お式の時だけ袴をはきました。

石黒 私共の時は、黄色のつむぎで、赤い帯をしめて、靴下をはいて靴をはいておりました。

渡辺 加藤さんの高明さんは、黒い木綿の紋付の羽織を召していらいっしやいました。お弁当が済みますと、パンの袋をふくらましてパンとわって、みんなを驚ろかしたことを覚

えておられます。

及川 幼稚園が出来ましたのは西洋崇拜のときでしたからはじめ先生方は洋服で、おきさんも洋服のようです。二十数年たってまた和服になりました。

石黒 先生の先生は洋服だったでしょう。

及川 みんな学校からくださったのではないのでしょうか。

石黒 私は小学校四年に子科二年、それで六年になったわけです。その時分にはじめてお袴になりました。

井上 上の組は帯をつけていらっしやったわね。

石黒 私が幼稚園から小学校時分には、皆さん島田でお願いしてよ。ですから、只日なたでぶらぶらして、お話しているぐらいでしたわ。私が小学校の頃は着流しでしたけれど、その頃袴をはいていたのは吉原さんで、紫じゆすのびかびかしたのをはいていました。

小学校の卒業の時は、唐人まげを家のものがゆつてくれました。

及川 幼稚園の卒業式の古い写真に、おちごがあります。私もゆいでしたが、私はまげ

だけつけました。

新庄 たけ長の良いのが買いたくてね。

井上 あの頃はまげの小さいのがはやっていて、朝は喧嘩みたいにしてもっと小さく、もっと小さくと言ってゆってもらいました。

及川 エプロンはかけていらっしやいましたか。

石黒 かけませんでした。

渡辺 その頃はまだ毛絲のシャツみたいなものがありませんでしたから、私は小さい頃弱かったので、綿の入ったものを、七、八枚着せられました。

石黒 重ね着しているのを、フク、トク、貧乏、金持、なんて数えるのです。靴ははいていましたが、遊ぶと言っても、ろくな遊びは出来ませんでした。

幼稚園でやったことども

及川 朝鐘がなつて、皆さんお遊戯室にいらっしやつて、どんなことをなさつたか、御記憶はございますか。

渡辺 何だかみんな揃っておじぎしたこと覚えています。

桂 部屋で御挨拶をいたしました。

及川 お弁当は土曜日のほかはお持ちでござ

いましたか。

井上 持ちましたね。

石黒 あの時分は貞明皇后が園児でいらっしやいました。

及川 右の者入園を許可するなんてございましたよ。

石黒 私の姉は貞明皇后さまと同じ組でした。何でもあの時はこを貰って来ましたが、ものを貰って来てはいけないと言って、母が取上げてしまいました。ところが妃殿下におなりになったので、昇格して、内裏様の横に並んでいました。

井上 よく覚えていらっしやいますね。

石黒 幼稚園時分のこととは、よく覚えております。

及川 この間宮内庁から貞明さまが何時から何時迄おいでになったか、という問い合わせがまいりました。

石黒 貞明皇后は私よりも相当お上です。

渡辺 私は豆細工、ねん土細工が大好きで、持って来ておめにかけてよと思つたのですが……。

金井 私はねん土細工が嫌で嫌で。

石黒 みんなおこそ頭布をかぶつていたの

ですよ。

渡辺 皇后陛下の行啓の時は、御先導の男の方を皆后陛下だと思つて、家に帰つてきてその話をしてみんなに笑われました。

石黒 窓を開けるの閉めるのと大さきざししました。

及川 「お菓子一折幼児に賜わる」と記録にあります、御記憶がごいいますか。

石黒 母が「皇后さまがどんなでいらつしやうか？」と聞くのでボールをかぶつていらつしやうか、皇后さまは、ざるをかぶつていらつしやうかと言つて大變叱られました。

余りいたづらをする、と、監事先生のお部屋で叱られるのです。監事先生にお灸をすえられていると言つて、みんなでのぞいたものです。

及川 天気の良い時はお歩きになつてお通いになつた覚えがごいいますか。

渡辺 幼稚園の時は覚えがごいのですが、小学校の時は車で来てはいけませんと言われて、長い道を歩いて通いました。

石黒 貴女方礼をおかけになつた？ 名前を書いて毎日かけていて、参観の方に「お名

前は？」と言われると、こうやって見せたのです。

井上 もう一つ、着物がごいしましたです。

及川 洋服もごいしましたが、特別のものはとてもみんな嫌がるものですから、この頃はみんなと同じ様な既製品を買います。

豆細工は皆さんお好きだったのですけれども、ねん土はおきらいだったのですか。

渡辺 器用な方は出来るのでしようけれど。

石黒 積木でも先生がお手本を示すと、それをみてやりましたが、積木はみんなで使うような大きいのがあつたわね。

渡辺 大抵男の子がそれで遊びました。

石黒 私共はそれで遊んだ覚えはありませぬ。

### 歌のこと

及川 「その頃どんな歌を歌つたのでしようか。石黒さんよく御記憶のようです、おきかせ願えませんか」(テープに録音する)

石黒 よく歌つた歌はうしろの牙面だあれ、という歌で、――

歌まいに たちつどいたる たわむれの

めしいの君よ 友どちよ 歌う間に間に  
そがなかの 一人が声を 耳とくも  
それと聞き知り ころあての

その名たがえず 指さば指してん。

――で、「何ちゃん」と言つてあてます。

「家鳩」というのは、大勢手をつないでおりまして、鳩になる人が三、四人真中にしゃがんで、

家鳩の巣ごと聞きて はなちやる  
(鳩がみんな飛び出して築山辺をぐるぐるまわっている)

行くえやいづこ、野に山に、芝生の原に  
遊ぶらん 遊びてあらば帰らん

とく帰らん 帰らずば、巣の戸閉ちてん  
巣の戸閉ちてん。

(帰らなければ閉められてしまふ)  
近くを飛んでいれば、ずるいと言われるのです。

「一つとや」は一つ心が第一よ、それでおかしい話があるのです。

妹と二人で幼稚園から帰つてくると、母が今日はどんな歌を習つてきたのと聞くので、

今日は「六つとや」で歌えないと言つたら、問いつめられて、「おしり」という言葉があ

るから歌えないと言って、「六つとや、昔を尋ねて今を知り」を、おしり」ととったので、すこれは余りみんなに笑われたので、今でも覚えています。

石黒 何時頃からああいう文語の歌は無くなったのでしょうか。私の時は総て文語でしたね、何にもわからないでうたっている。

### 遊 び

及川 部屋の机が縦横に基盤にすちがひいてありましたか。

石黒 すじはついていなかったような気がしますね。

及川 先生のなさる通りなさったのですね。おままたのような遊びはなさいましたか。

渡辺 お道具がございましたから、それを拝借していたしました。

石黒 酒井さんというあいの子がおりましたか……。

及川 外人の名がございますね。男のお子さんのようです。

石黒 そのあいの子は、藤棚の中を、機関車の真似をして歩くのがとても上手でした。お池におたまじゃくしがおりましたね。

井上 包んで家を持って帰って叱られたことがあります。

石黒 それが蛙になって上ってくると、お玉じゃくしが蛙にばけた」と言って男の子がさわぎました。

渡辺 遊戯室のもう一つ奥のお部屋が倉庫になっていて、がい骨の標本がございました。それがガラス越しに見えるのがこわくて……。

及川 ひどく暗くしていたつらすると、そこに入れられるのが、みんな本当にいやだったようです。

石黒 その部屋は南をむいていた訳でございますか。

及川 西をむいていたのです。軍艦の大きな立派な模型があったりして物置になっておりましたよ。

石黒 お狐ごっこを思い出したわ。

渡辺 お姫様を奥にかこつて、お狐様がお姫様をとりに行くと、お供が渡すまいとして守るのです。けれど何とかして連れて行かれましたまう。

石黒 いも虫ごろく、ひょうたんばっくりこもやりましたね。

渡辺 男のお子さんは、お山から滑ったりして……。

渡辺 西洋鬼といって、二人づつ重って輪を作って、外から一人入ったら、うしろの人が鬼になって、ほかのところに入る遊びがございました。

### 行事のこと

及川 お式がおりになった御記憶はございませんか。

石黒 天長節に、「今日のよき日」なんかうたった覚えはないですね。

及川 大きい人と一緒だから、幼稚園はお休みだったのかも知れませんが。

桂 幼稚園は幼稚園だけ別にお遊戯室でいたしました。総代が出ておめでとう御座いますと云って……。

渡辺 高峰先生のお子さんが総代でお出になりました。

及川 五月、三月のお節句の御記憶はございませんか。

井上 私達の時はありますね。おり紙で、つの箱を折って、その中においりを入れて……。明治二十年前後の幼稚園は専ら西洋式でした。

及川 自由遊びの時間は少なかったように  
思えますが……。幼稚園では男のお子さんは  
随分おしゃべりしたり、いたづらしたりして、  
女の方は大人しかったのですね。先生がおっ  
しゃった通りにやるのですね。

井上 小さいのが、一人分づつ箱に入った  
積木がありました、板並もありました。

及川 ああいう趣味的なものは大分あとま  
で残ってございました。皆さんのおきらいだ  
ったねん土は今は随分沢山あります。割合  
に幼稚園の中は静かだったのでしようね。

石黒 先生はお楽だったでしょう。

及川 地金を出すすきがないのですね。

石黒 生徒のほうに智慧がないのでし  
う。

渡辺 普段言われつけているものだから、  
先生のおっしゃることを「はい、はい」と言  
っている良いことでした。自分の意見を発  
表するなんていうことはなかったし家でも絶  
対服従ですから。

井上 私達の小さい時は、父親が帰って  
くと、みんな玄関に出て出迎えたものでは  
ら……。  
石黒 今の幼稚園は子供にどんな歌を教え

るのですか。

及川 子供がそのまままでわかる歌でござ  
いますね。本当にありのままの簡単なものを、  
くり返していただきます。

石黒 先生の先生は、あの時分いらっし  
ったのでしようか。

及川 師範学校という制度になっておりま  
すから教生はおりましたでしょう。明治八年  
に師範学校が出来て、その人達が四年になる  
のに間に合わせる為に小学校が出来たよう  
です。幼稚園のはじまったのは、明治九年で  
ございますからね。

石黒 石黒は十七年生れですから、二十年  
位に幼稚園に入ったのです。鳩山一郎さんは  
一つ上の組でしたが、石黒なんかよりずっと  
前の組がある筈でございますね。幼稚園の行  
きかえりには、ニコライ堂がよく見えます  
た。

来てみよ君よ わが箱庭を

金魚のひれに 波立つ海を

帆かけてうけて つけ木の船を

むかいの岸に 吹け吹け風よ

### お知らせ

幼児のための造形

「相談の窓について」

本誌二月号より連載中の林健造先  
生御執筆の新しい美術講座、『幼児  
の造形』は各方面より非常に好評を  
得ておりますが、この度先生は読者  
の方々の御要望に答えて、幼児のた  
めの美術相談（相談の窓）をお引受  
け下さることにいたしました。

幼児の絵画や製作の問題につい  
て、皆様からの御質問、御希望があ  
りましたら、氏名、年齢、住所園名  
を明記の上、お気軽に左記におよせ  
下さい。

宛 先

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大付属幼稚園内

幼児の教育編集部